国際理解コース

名古屋市立北高等学校
2024.03.31

# Polaris news

【北高新聞 NO.202312】

## 「認定 NPO 法人 ICAN による講演会」
## フィリピンの路上の子どもたちについて

（2024.02.20）

認定 NPO 法人 ICAN の庭田美環氏にお越しいただき、フィリピンの路上の子どもたちについて講演していただきました。路上の子どもたちの現状についてお話いただき、実際の様子がわかるビデオも見せていただきました。後半はフィリピンの路上の子どもたちの現状を解決するために①個人でできること②学校でできること③家庭でできることをグループで考え、発表しました。

■生徒の感想より

- 高校生のうちから今日のアイキャン講演会のようなイベントに参加して、いろいろな世界の問題に対する知識を増やしたいと思います。また、大きなことはできないけれど、少しでも助けになるよう、身近な小さいことから始めてみようと思います。
- 高校生の私たちに今できることは、世界の現状を理解すること、少しのお金でも、いいから寄付をすること、ボランティア活動に参加すること、フェアトレード商品を買うことなど、簡単なことでも現地の子たちを助けることができるので、スマホを触って遊んでいる時間を少しでも困っている誰かのために使いたいと強く思いました。
- 現状を知ることによってこの先の生活で、考え方も変わるだろうし、そのような国のために何ができるか考えるようになると思う。
- フィリピンでは約３７万人の子どもたちが路上で生活していると聞きました。そのような子どもたちが「教育を受けたい」と言っているのを聞きとても驚きました。私はいつも勉強をしたくないと思っていますが、今回の講演会をきっかけにその考えは間違っていると気付かされて、勉強ができることは子どもの権利が守られ、とても幸せなことだと感じるようになりました。
- アイキャンの活動の中で、特に「子どもの家」に深く今日意味を持ち、すばらしい施設、取組みだなと感じました。しかし、今は資金などの問題で半分の 15 人しか受け入れができていないそうです。そのことを踏まえると私たちができることは ICAN が行っている活動に参加することや募金をすることだと思います。